

News Release

【報道関係各位】

2010年4月27日

セント・ジュード・メディカル株式会社

セント・ジュード・メディカル、エンサイトシステム3000Sの機能を拡張

～ソフトウェアv.8.0により、マッピング機能を拡張、
不整脈治療に対する、コントロールを充実～

セント・ジュード・メディカル株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：ウィリアム・フィリップス、以下、同社）は、同社のEnSite NavX™ Navigation and Visualization Technologyを搭載した、エンサイトシステム3000S（v8.0）の発売を発表しました。エンサイトシステム3000Sは、心拍の異常である心臓不整脈をより効率的に診断し、適切な治療方法を選択するためのサポートができるよう設計された3Dマッピングシステムです。

エンサイトシステム3000Sは低侵襲的なEP（電気生理学）の手技において使用することができます。電極カテーテルは心腔内に挿入され、それらのカテーテルを通じて、心臓の電位情報がエンサイトシステム3000Sに記録され、位置情報が反映されることで、カテーテルの位置決めや視覚化が可能になりました。解剖学的な情報を詳細に反映することで、不整脈の診断と適切な治療をサポートできるようになりました。

新しいソフトウェアv.8.0により、エンサイトシステム3000Sの機能が拡張され、活動電位が心腔内どのように伝播しているかを示すpropagation map（伝播マップ）という機能が強化されました。この機能により、不整脈の視覚化が一層促進され、不整脈の発生部位をより効率的に特定できるようになりました。

「NavXモードを搭載したエンサイトシステムv8.0を使用することによって、複雑な不整脈に対してもよりの確かな診断が可能となり、これまで以上に患者様に適した治療法を選択できることになるでしょう。」と東京慈恵会医科大学、循環器内科、准教授、山根禎一医師は語ります。

これらの機能に加え、マップの表示能力を強化しました。カテーテル、病変、解剖学的に重要な部位をよりリアルに表示できます。さらに、心拍信号の検知を高めるために、電氣的ノイズを除去するフィルタリング能力を向上させています。これは、EP分野の医師の注目を集めている連続性分裂心房電位（CFAE）のような、低振幅信号を分析する一助となるものです。また、カテーテルのナビゲートが可能になることから透視の回数が減り、X線被曝を少なくすることも可能です。

「日本市場でも最先端技術を搭載したエンサイトシステム3000Sを当社が販売できるようになったことを喜ばしく思います。今後も、心房細動とたたかう患者様とその治療にあたる医師をサポートする製品を開発し続けて参ります。」とセント・ジュード・メディカル社AF（心房細動）事業部、プレジデント、ジェーン・J・ソングは述べています。

心臓不整脈は異常な刺激伝導によって生じる心拍障害で、健康な方でも発症することがあります。軽度なものから、重篤なものまで様々あって心疾患、脳卒中または突然の心臓死につながるものまで、その転帰はさまざまです。心臓不整脈の治療の一つとして高周波アブレーションを挙げることができます。アブレーションとは、電氣的に過活性化心臓組織、すなわち発生部位の組織を焼灼すること電氣的に不活性化組織に変えて、心臓不整脈を停止させるものです。

セント・ジュード・メディカル(米国)について

セント・ジュード・メディカルは世界中の心臓病、神経系および慢性疼痛の患者様の治療に当たる医療従事者の方々が優れたコントロールを手にすることができるよう、医療技術とサービスを開発しています。セント・ジュード・メディカルはリスクを可能な限り軽減すること、そして全ての患者様の治療の成功に貢献することを通じて、医療の発展に全力で取り組みます。セント・ジュード・メディカルは、「カーディアック リズムマネジメント」、「心房細動」、「心臓外科」、「カーディオロジー」、および「ニューロモデュレーション(神経系)」の5つの分野に注力しており、米国ミネソタ州セントポールに本社を置き、世界中に約14,000人のスタッフを擁しています。セント・ジュード・メディカルの詳細については<http://www.sjm.com/>をご覧ください。

【本件に関する報道関係者のお問合せ先】

セント・ジュード・メディカル株式会社
セールス・マーケティング統括室
PR マネージャー
山田 秀之
TEL 03-3423-6471 FAX 03-3423-1378